

3. 入郷棚田保全協議会・石畑棚田保存会

棚田名	石畑(いしばたけ)
所在地	栃木県茂木町入郷地区
百選等の認可	棚田百選(1999年)、残したい栃木の棚田21に認定(2001年)
棚田の概要	2.4ha 18枚
保全団体	入郷棚田保全協議会・石畑棚田保存会
設立年	2002年(平成14年)
沿革	茂木町中山間地域等直接支払制度推進協議会会員の入郷棚田保全協議会が、石畑棚田を拠点にしてオーナー制度を平成14年に導入。
代表者	大町 弘志
問い合わせ先	茂木町農林課 TEL 0285-63-5634
会員	
主要メンバー	会長:大町弘志、事務局長:塩澤康治、役員7名(内1名はハッチョウトンボ保存会担当)
拠点施設等	入郷交流センター
ポリシー 又は活動の方向性	<p><意欲>オーナー制度の導入によって、地元入郷集落と一般都市住民との交流促進を図り、地域を活性化しようとする意欲はたいへん高い。</p> <p><方向性>地元集落とオーナーの関係は、“もてなしをしない、されない”を基本に、お互いが心理的負担にならない関係を築きながら、地元は稲作り体験やハッチョウトンボ保全活動等の機会と場所の提供し、オーナーは稲作や田んぼの生きものとの触れ合い等を楽しんでいる。今後も、この方向で地元入郷集落と一般都市住民との交流を図る予定。</p>
活動状況	
運営資金	
広報ツール	HP : http://irigou.ld.infoseek.co.jp 茂木・入郷石畑 棚田ニュース
協力者	
市民交流制度(オーナー制度など)	オーナー制度：あり
棚田米販売	一部、直接販売あり
特産品開発	特産品はシイタケ、新たな特産品開発の取り組みはない
直売所	一部の農家が「道の駅もてぎ」でシイタケの委託販売
定期的イベント	
地域の状況	
直接支払の状況	集落内の全棚田が直接支払制度の申請地域。石畑棚田の対象面積は4.9 [㍉]
地域おこしグループ等	平成20年現在の世帯数：36戸(内4戸が独居高齢世帯)、集落人口：約120名。多くの世帯で後継者(および集落内に居住する跡取り、但しそのほとんどは兼業)に見通しあり。特産物のシイタケは生産組合の会員が生産。出荷は全農ルート。農業法人や地域おこしグループ等はない。
後継者対策	
I・U・J・Oターン	集落としての特別な取り組みなし
ボランティア受入	なし
行政の支援	茂木町農林課との連携は強固
備考	入郷集落は典型的な中山間地域にある。集落内には数ヶ所の棚田があり、その一つの石畑棚田が百選に選定されている。高齢化、過疎化は進んでいるが、半数の世帯では後継者(但し、大部分が兼業)の見通しもあり、集落の将来は暗くない。